

向こう三軒両隣

第17号
2024年
3月31日



有明台小学校区
コミュニティ協議会
会長 關川 弘雄

新年を迎え、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から右明台小学校区「ミニユーティ協議会（以下「ミニ協」という。）の諸活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5月8日から感染症法上2類から5類に移行し、これまでいろいろな制限があつた活動がし易くなり、以前行っていた「ミニ協」の「秋祭り」やスポーツ振興会の「親子地引網」などが復活されました。そんな中でご支援いただいた活動の概略をお知らせしながら、令和6年に向けての計画を紹介し、皆様からのご理解を得たいと存ります。

ルス感染症が5月8日から感染症法上2類から5類に移行し、これまでいろいろな制限があつた活動がし易くなり、以前行っていたコミ協の「秋祭り」やスポーツ振興会の「親子地引網」などが復活されました。そんな中でご支援いただいた活動の概略をお知らせしながら、令和6年に向けての計画を紹介し、皆様からのご理解を得たいと存ります。

朝までに無事に帰宅することができました。これまで有明台校区自主防災会は、毎年有明台小学校と合同で防災訓練を行つてきましたが、実際に災害が起きた時には訓練では足らないことが多かつたことがわかりました。これからは組織を見直し、実践に役立つように作り変える必要があると思いました。

朝までに無事に帰宅することができました。これまで有明台校区自ら防災会は、毎年有明台小学校と合同で防災訓練を行つてきましたが、実際に災害が起きた時には訓練では足らないことが多かつたことがわかりました。これからは組織を見直し、実践に役立つように作り変える必要があると思いました。

関屋分水路右岸に 「花文字花壇づくり」



令和6年に向けて —みんなが手を取り合って住みよいまちづくりへ

が流れ、突然、家が激しく揺れました。津波警報が発令され、早急に避難所（ビル）や高台に避難するよう指示がありました。

有明台地域でも震度5強の揺れで、多くの人たちが指定された津波避難ビル（有明台小学校、新潟第一中・高等学校、関屋おもと公園、せきやの里、市當関屋大川前住宅、ナーシングホーム文京町など）に避難されました。避難させていただいたい施設の方々には深く感謝申し上げます。お陰さまで避難された皆様は翌

13日に有明台小学校児童と地域住民が連帯して、関屋分水路右岸に花壇をつくりました。当日、児童、地域住民、学校支援ボランティア、国交省、中央区などの参加により、「秋冬きれいに咲く花」の植栽が行われました。植栽後は、各自治・町内会から水遣り、雑草取り、枯れた花摘み等種々お世話をいただきました。お蔭様で順調に生育し、感謝申し上げます。今年度も有明台小学校の子どもたちと一緒に植栽を行いましょう。

昨日5月に新型コロナウイルス感染症が5類に変更になり、日常の活動に制限が少くなり、旧来の生活に戻りつつあるといわれています。これからは手を取り合って住みよいまちづくりをして行こうではありますか。

新規登録をされた方へ
る児童は増加が予想され、現在のボランティアでは不足するところです。活動時間は、月曜日～金曜日の16時～18時までの30分おきにひまわりクラブをスタートします。月に一回の活動でも、都合の良い日・時間も結構です。皆様からのご協力をお願いいたします。

平成28年9月から開始された「有明台ひまわりクラブ一人帰り児童帰宅支援活動」は、令和5年10月19日新潟県防犯功労者表彰、同月31日新潟市防犯活動功劳者表彰を受けられました。この帰宅時支援活動は、県内でも有明台小学校だけが行っているもので、高く評価されています。

新学期を迎え支援を受け
る児童は増加が予想され、
県立のバラノイフ

「ひまわりクラブ」
人帰宅時支援
が表彰される。
活動



特集

ひまわりクラブ一人



安全交 通部会

【今日用（教養）があり、今日行く（教育）所がある「ひまわりクラブ」は、微助つ人

このクラブに参加して何年になるでしょうか。最初はまだつくり歩かれていたが、今は子どもたちと少しはおしゃべりしながら歩けるようになりました。自身歳を取り、歩く速度が少々ゆっくりになりました。子どもたちは成長し、身長も伸び、足も長くなり頗るしく成長しています。

樋口恵子さんの著書の中に「老いの福袋」どっこい生きている90歳。樋口さんが90歳の時の書をです。（現在91歳）高齢者についての記事があり、無理をしない程度に社会参加が必要とありました。何かお役に立つことに「微助つ人」とあります。年を経て我もうりたし微助つ人」この言葉はとても気に入りました。このひまわりの活動は私にとって本当に楽しい「微助つ人」です。

（新保俊子氏）

特集

ひまわりクラブ一人



ボランティアさんたちの感想等

「今日用（教養）があり、今日行く（教育）所がある「

2017年1月、自治会長さんから「有明台小学校のひまわりクラブで帰宅支援のボランティア活動があるのだけれど、やつてやつてないだらうか」と声をかけてもらいました。「私でやれることなら」と即答し、参加させてもらいました。今年7年目になりました。私の場合は都合で二日間の活動ですが、私にとって大切な健康寿命のポイントになつてあります。「今日用があり、今日行く所があるボランティア活動」教養と教育は人生にとって大切ですが、第一が日々の目標です。孫世代のかわいい子どもたちと、帰宅の道を対話を通して多くのことを学び、パワーをもつてています。晴れた日ばかりでなく、雨の時も、風の時も、そして吹雪の時もあるからこそ、子どもたちに寄り添つて今日も元気で歩けること感謝です。元気で歩ける間、頑張つて続けて健康寿命を延ばしていきたいと願っています。

（梨本美枝子氏）

ひまわり帰宅応援隊

（小柳芳夫氏・有明台小第9回卒業生）



このクラブに参加して何年になるでしょうか。最初はまだつくり歩かれていたが、今は子どもたちと一緒に歩くようになりました。その子、その子みんなかわいいですね。自身歳を取り、歩く速度が少々ゆっくりになりました。子どもたちは成長し、身長も伸び、足も長くなり頗るしく成長しています。

樋口恵子さんの著書の中に「老いの福袋」どっこい生きている90歳。樋口さんが90歳の時の書をです。（現在91歳）高齢者についての記事があり、無理をしない程度に社会参加が必要とありました。何かお役に立つことに「微助つ人」とあります。年を経て我もうりたし微助つ人」この言葉はとても気に入りました。このひまわりの活動は私にとって本当に楽しい「微助つ人」です。

（新保俊子氏）

有償ボランティアさん募集中です

ボランティアコーディネーター代表 小原一雄氏
(連絡先 090-12217-18449)

帰宅支援ボランティア

防犯活動功労者表彰を受賞

令和5年10月31日（火）に新潟市役所本館において、ボランティアコーディネーター代表の小原一雄氏が防犯活動功労者表彰式に出席し、新潟市長から感謝状の贈呈を受けました。

（表彰理由）

平成28年9月から有明台ひまわりク

ラブ一人帰宅支援ボランティア活動をスタートし、地元有明台小学校の児童を守るために、一人帰りの児童を帰宅方向別に分け、ボランティアにより自宅まで送り届ける帰宅支援を実施し、現在も活動に活動を継続している。

当活動は、地域、小学校及び児童の保護者から高い評価を受けしており、また、県外団体から視察を受ける等している。

本活動は「地域の安全は地域で守る」というボランティアらの強い防犯意識の醸成により成立しており、他の防犯ボランティア団体の模範となっている。

新潟県防犯功労表彰を受賞

（表彰式）

令和5年10月19日（木）に「新潟県犯罪のない安全なまちづくり県民大会2023」会場である新潟G2

ゾンプラザにおいて、ボランティア

コーディネーター代表の小原一雄氏が

防犯功労者表彰式に出席し、公益社団法人新潟県防犯協会会長及び新潟県

警察本部長から表彰状の贈呈を受けました。

（表彰理由）

多年にわたり児童の見守り活動等地

域安全活動を推進し、犯罪のない安

全で安心な地域社会づくりに多大な貢献をされました。ここにその



有明台ひまわりクラブの歴史

昭和52年12月 有明台校区学童保育設置準備会設立

昭和54年4月 浜浦・有明台ひまわりクラブ誕生

平成2年1月

分離

平成28年3月

有明台ひまわりクラブが文京町から有明台小

学校へ

内へ

移転

平成28年9月

有明台ひまわりクラブ一人帰宅支援活動開始

平成29年3月

有明台小学校の校庭へ「ミ協事務所」と同時移転



一、人の悪くち くちなじで（人生花づくし）

一、親の教えは きくのはな（人生花づくし）

ボランティア活動の経緯

有明台ひまわりクラブの黎明期

今から47年前の昭和52年の12月、学童保育を必要としている浜浦・有明台両校の保護者の数名が集まり、準備会を発足しました。最初に、幼稚園、保育園及び小学校を対象に「学童保育利用希望アンケート」を行いました。共働きの家庭から百%近くの賛同を受け、市福祉課長、係長に学童保育施設の設置と運営予算の折衝を行いました。

市当局は、有明台小学校の空き教室などを提案しましたが保留されました。その後、開屋地区公民館の新館が完成したので、「浜浦ひまわり」学校教師の佐藤正子先生に決まり、早速2月9日有明台・浜浦両校の中間地点の信濃町の一にいたや（横山作栄氏）の2階を借用して「浜浦・有明台ひまわりクラブ」が誕生しました。

その後、開屋地区公民館の新館が完成したので、「浜浦ひまわり」と「有明台ひまわり」に分離。有明台は堀割橋の傍りに会館を新築移転しました。

発足当時は、指導員の先生、保護者会の意見を聞きながら運営に携わりました。児童数は30名前後でした。

（藤田孝一氏）

（有明台ひまわりクラブの歴史）

昭和52年12月 有明台校区学童保育設置準備会設立

昭和54年4月 浜浦・有明台ひまわりクラブ誕生

平成2年1月

分離

平成28年3月 有明台ひまわりクラブが文京町から有明台小学校へ時移転

平成28年9月 有明台ひまわりクラブ一人帰宅支援活動開始

平成29年3月 有明台小学校の校庭へ「ミ協事務所」と同時移転

一、人の悪くち くちなじで（人生花づくし）

一、親の教えは きくのはな（人生花づくし）

まちづくり部会

やすらぎ堤に
チューリップ植栽

今年度も信濃川左岸やすらぎ堤の緑地帯で、市の花「デコリップ」の球根400球の植栽に参加しました。平成26年度からこの事業に参加しており、今年で10回目になります。

春になると、やすらぎ堤で散歩しています。4月には綺麗なチコーリップの花が色とりどりに咲きますので、散歩が楽しみになります。



閑屋分水路右岸花文字花壇づくり

参考書 『参加者の心』(文部省編著、文部省出版局、昭和25年)。本稿は、その一部を改変して転載した。



閑屋分水路和花文字花壇づくりに取組み4年目を迎えて、10月13日に絶好の秋晴れのもと植栽を終えました。右写真は小学校の児童の皆さんのが分水路に開設する学習を通じて一生懸命努力した花文字「ありがとうございました」になりました。今後も子どもたちを中心とした花文字花壇づくりを継続する」と申し述べた。地域の手である閑屋分水路の周辺の環境美化に努めます。

大こんの収穫



(有小)

10月13日(金)	10月14日(土)	シティマラソン前・齊ク ラン作戦
10月14日(土)	10月15日(日)	新潟県民福祉大会(上越 文化会館)
10月15日(日)	10月16日(月)	第6回コミ協定例会 第7回新潟市コミニニ テイ交流会(自銀学習館)
10月16日(火)	10月17日(水)	新潟県民福祉大会(上越 文化会館)
10月17日(木)	10月18日(金)	防犯活動功労者表彰式 ハイパージュニアアレス キュー研修会(関中)
10月18日(金)	10月19日(土)	第5回中央区自治協議会 式典(市民プラザ)
10月19日(土)	10月20日(日)	令和5年度新潟市表彰式 (保健衛生の向上)
10月20日(日)	10月21日(月)	一歳未ぶれあいお楽しみ 会(有小)
10月21日(火)	10月22日(水)	第7回コミ協定例会
10月22日(木)	10月23日(木)	令和5年度新潟市表彰式 (保健衛生の向上)
10月23日(金)	10月24日(土)	一歳未ぶれあいお楽しみ 会(有小)
10月24日(土)	10月25日(日)	第8回コミ協定例会
10月25日(日)	10月26日(月)	トヨール
10月26日(火)	10月27日(水)	第6回中央区自治協議会 式典(市民プラザ)
10月27日(木)	10月28日(木)	お茶の間in有明台小学 校
10月28日(金)	10月29日(金)	第9回コミ協定例会
10月29日(土)	10月30日(日)	第10回コミ協定例会
10月30日(日)	10月31日(月)	第11回コミ協定例会
10月31日(火)	11月1日(火)	慈師神社大祭
11月1日(火)	11月2日(水)	お茶の間in有明台小学 校
11月2日(木)	11月3日(金)	第69回卒業証書授与式

特集

令和6年能登半島地震関連

防災士から一言

新潟市危険ブロック塀等 撤去工事補助制度の 活用について

能登半島地震・津波警報に伴う避難について

有明台校区・自主防災会主 前野津地場課長

新潟湯地場が(あつたら)毎月「地域と学校の合意」で、毎月の避難訓練を行なっています。この訓練は、毎月の避難訓練を行なっています。

能登半島地震発生時、有明台小学校には多くの住民が避難して来つてしましました。地域の防災士として活動した中で、有明台小学校校区の皆さんとの「底力」を感じる出来事が沢山ありました。小学校の児童が「何か手伝うこと」はありますか? と積極的に声を掛けてくれたり、中学生や高校生たちも毎回考えて行動してくれたことがあります。

避難して来られた人々から「近所に住む90歳代の方が動けず家に残っています。自分にはどうしたらいいのか……」と相談を受けました。すると、若者を中心として協力を申し出る声が上がり、その中の一人にお願いして自宅へ迎えに行つてもらい、間もなく連れて戻ってくれました。聞けば20年前の卒業生のことです。立派に育ち、地域の力になろうと率先して取り組む姿に感動しました。平時は気が付かないのですが、緊急時にあつて地域の底力がつまらなかったり表れたことがあります。

(防災士 前野津地場課長)

(1) 今までの防災訓練の実施時期は毎年6月で、冬季間に実施した経験が二回もなかった。

(2) 各自町内会では、「避難行動要支援者」名簿を作成していますが、今回の災害で「避難行動要支援者が安全に津波避難ビル等避難できたか」について確認されたかを尋ね、「安全に避難したこと等が外から確認できるよう」玄関先に「黄色いタオル」を掲げたが、

(3) 「三協で作成した「地域版津波曰主避難マップ」が今回の避難に生かされたのか?」

(4) 上記のほかにも様々な課題があるので、「これを機会に今一度勉強会を開いて、大勢の意見を聞く必要があると思います。(防災士 里村一栄氏)

今和6年1月4日より「通学路沿いのブロック塀等にひび割れや傾斜が散見され危険なケースもあります。気象庁は、今後震度五以上はそれ以上の余震が想定される旨を繰り返し報道している様です。そこで、標記補助制度が大幅に拡充されたことから、危険ブロック塀の撤去について替え又はエニックス等に依つて検討して頂きますようお願い致します。
なお、制度の詳細については、「新潟市建築部建築行政課建築行政係」(025-226-12841)へお問い合わせください。



アトムのハーネーを
お返します。

1月1日～の令和6年能登半島地震の際、有明台小学校に避難された方で、アトムのバークー（ラー）を貰って頂いた方へ。大変ありがとうございました。お返ししたいので、次へご連絡をお願いします。

連絡先 田邊正行

(090-5529-8990)

地域と有明台小学校の合同防災訓練は、6月15日（土）の予定です。

8月7日(月)
8月20日(日)
第4回コミ協定例会
8月25日(金)
第4回コミ協定例会
8月7日(木)～8日(金)
コミ協「秋祭り」
・薬師神社秋季例大祭
9月13日(水)
避難所運営講習会
9月20日(日)
第5回コミ協定例会
9月21日(木)
29日(金)
秋の交通安全街頭指導

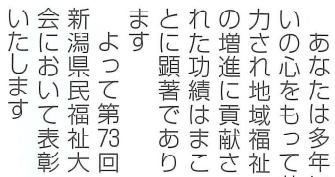
4月3日(月)	Tenyテレビ新潟取材
4月7日(金)～14日(金)	春の交通安全連動街頭指導
4月9日(日)	県議会議員等一般選挙投票立会(有小)
4月11日(火)～14日(金)	新1年生校時交通安全管理
4月20日(木)	第1回コミ協定例会
4月28日(金)	第1回自治協議会
5月5日(金)	薬師神社春祭大祭
5月8日(月)	有小第1回学校運営協議会
5月20日(土)	第2回コミ協定例会
5月30日(火)	自転車安全教室(有小体育館)3・4年生(65名)
6月17日(土)	地域と学校の合同防災訓練
6月20日(火)	3回体合定期総会(有小体育館)
6月30日(金)	第3回中央区自協議会
7月20日(木)	第3回コミ協定例会
7月25日(火)	中央区コミ協議会定期総会
7月30日(日)	夏休み親子地引網
121人参加	

黄色いタオルを
配布します。

活動日誌

今年度の表彰の受賞など

地域振興部会



社会福祉法人 新潟県共同募金会表彰受賞



よつてこに
表彰します



關東管区警察局長表彰受賞



令和5年度新潟市表彰受賞（保健衛生の向上）

○ 功績
住みよい郷土推進協議会副会長および会長として、長きにわたり誠心誠意、協議会の運営及び活動に貢献し、公衆衛生の保全に多大なる寄与をされました。その功績は誠に顯著であり、他の模範と認められます。

○ 経歴

○ 関屋大川前3区町内会
関川 弘雄氏

大学を退かれた後は、中央区自治協議会会長や青少年育成協議会会長、有明白百合子、協議会会长などに就任され、幅広く活躍されています。

長年にわたりツツガムシ病や吸血性害虫、マラリアなどの衛生動物や寄生虫病の研究に従事され、2005年度まで新潟大学医学部助教や大学院医学総合研究科助教授を歴任されました。

民生委員の一斉改選は令和4年12月1日でした。民生委員の候補者選任にあたっては、自治町内会長を通して推薦されることになっています。近年、委員のなり手不足は、就労年齢引き上げ等の影響もあり、自治町内会役員でも同様の傾向があります。民生委員の役割、活動への理解不足等から候補者が選任できないケースが曰立つてきています。

委員候補者の選任については、実際に活動している民生委員関係者からの意見が反映されることも少なくなく、貴重な意見として吸い上げられ執り行われてきています。

「秋祭り」



編集三昧

作者不詳の「人生花づくし」をひへー
ジ以降の欄外に載せてみました。



9月7日～8日の2日間にわたり、4年振りに薬師神社で開催されました。台風13号の影響が心配されましたが、関屋八階節保存会による地域の伝統芸能「関屋八階節」「新潟甚句」でスタート。マジックショーに続いて、子どもたちお待ちかねの3人1組のビンゴゲーム大会には、例年を上回る参加者で大変盛り上がりました。



委員候補者の選任について、実際に活動している民生委員関係者からの意見が反映されることも少なくなく、貴重な意見として吸い上げられ執り行われてきています。

委員経験者や現在の民生委員関係者は自治町内会長に情報を提供し、来年12月の改選に向けて連携していくことが必要です。

お互いに情報を共有しながら連携を深めていくことは、民生委員活動に重要であり、地域住民の様々な課題を知ることにもつながります。

また、民生委員活動において地域包括支援センターの存在は大変有難いです。看護師や社会福祉士等の専門職員が配置され、介護保険や高齢者の生活相談窓口となっています。安否・見守り訪問世帯への問題解決のための相談・連絡先として毎月の定例会議にも出席して頂いています。今まで以上の連携強化が不可欠です。